

平成16事業年度 国立大学法人九州大学決算報告書

平成17年6月

平成16年度 決算報告書

国立大学法人 九州大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	48,516	48,516	—	
施設整備費補助金	8,106	8,148	42	(注1)
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付金償還時補助金	228	228	—	
国立大学財務・経営センター 施設費交付金	2,400	2,400	—	
自己収入	34,980	38,688	3,708	
授業料及び入学金及び検定 料収入	10,484	9,456	△ 1,028	(注2)
附属病院収入	24,104	24,849	745	(注3)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	392	4,383	3,991	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附 金収入	5,638	8,695	3,057	(注5)
長期借入金収入	9,158	9,073	△ 85	(注6)
計	109,026	115,750	6,724	
支出				
業務費	79,017	75,217	△ 3,800	(注7)
教育研究経費	45,011	36,032	△ 8,979	
診療経費	23,661	22,993	△ 668	
一般管理費	10,345	16,191	5,846	
施設整備費	19,664	19,622	△ 42	(注8)
船舶建造費	—	—	—	
産学連携等研究経費及び寄附 金事業費等	5,638	8,237	2,599	(注9)
長期借入金償還金	4,707	4,689	△ 18	(注10)
計	109,026	107,764	△ 1,262	
収入－支出	—	7,986	7,986	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、事業計画の一部変更により予算金額に比して決算金額が42百万円多額となっています。
- (注2) 授業料及び入学金及び検定料収入については、主として授業料の前倒し収納を廃止したことにより、予算金額に比して決算金額が1,028百万円少額となっています。
- (注3) 附属病院収入については、診療報酬請求の早期回収及び地域医療機関との連携強化による患者数の増加等の増収方策の結果、予算金額に比して決算金額が745百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、予算段階では未定であったため計上していなかった承継剰余金3,871百万円、台風被害に係る保険料52百万円を主な要因として、予算金額に比して決算金額が3,991百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、申請件数の増をはじめとして全学的に外部資金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が3,057百万円多額となっています。
- (注6) 長期借入金収入については、事業計画の一部変更により50百万円、契約努力により35百万円、合計すると予算金額に比して決算金額が85百万円少額となっています。
- (注7) 業務費については、主としてキャンパス移転事業等を円滑に推進するため当該事業に係る必要経費の捻出を目的として、全学的に経費の節減等に努めたことにより予算金額に比して決算金額が7,477百万円少額となっています。
- なお、予算段階では未定であったため計上していなかった承継剰余金により予算金額に比して決算金額が3,677百万円多額となっています。
- よって、予算金額に比して決算金額が計3,800百万円少額となっています。
- (注8) 施設整備費については、注1及び注6に示した理由により、予算金額に比して決算金額が42百万円少額となっています。
- (注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、注5に示した理由により、予算金額に比して決算金額が2,599百万円多額となっています。
- (注10) 長期借入金償還金については、利息の軽減を目的とした借入計画の変更により予算金額に比して決算金額が18百万円少額となっています。